

2026年3月31日

損害保険ジャパン株式会社

SOMPOリスクマネジメント株式会社

洋上風力発電所の保険価額再評価サービスおよび地震リスクの定量評価サービスの提供

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）とSOMPOリスクマネジメント株式会社（代表取締役社長：中嶋 陽二、以下「SOMPOリスク」）は、洋上風力発電所の保険価額を再評価するサービスおよび地震リスクを定量的に評価するサービスを2026年4月から開始します。

1. 背景

近年、世界的なインフレの進行により、洋上風力発電所を構成するタービン、海底ケーブル、変電所などの再建や再調達に要する費用は建設時と乖離している可能性があります。その結果、事故発生時の保険金額の妥当性や、保険金額に基づいて算出する事業の最大予想損害額の変動など、保険設計やリスク管理において課題が生じます。損保ジャパンとSOMPOリスクは、こうした市場環境の変化に対応するため、洋上風力発電所の保険価額を最新の水準で見直す「保険価額再評価サービス」を提供します。

また、日本固有の自然災害リスクは、洋上風力発電事業におけるリスク管理および保険設計において重要性を増しています。従来評価してきた台風や落雷に加え、地震リスクについても洋上風力発電所に特化した評価モデルを新たに開発しました。自然災害リスクを定量的に評価することで、より合理的な保険設計を通じて事業を支援します。

2. 本サービスの概要と特徴

（1）保険価額再評価サービス

本サービスでは、洋上風力発電所の主要設備について、主要設備の本体価格に加え、再設置に必要な材料費、人件費、諸経費などを含めた保険価額を算出します。

算定にあたっては、インフレ指数、国際的な設備単価データ、為替動向、税制の変化などを反映し、現在の市場環境を踏まえた評価を行います。グローバルで洋上風力発電所の評価実績を有するKROLL[※]と提携し、その知見と損保ジャパンおよびSOMPOリスクの専門性を組み合わせることで、信頼性の高い評価を実現します。

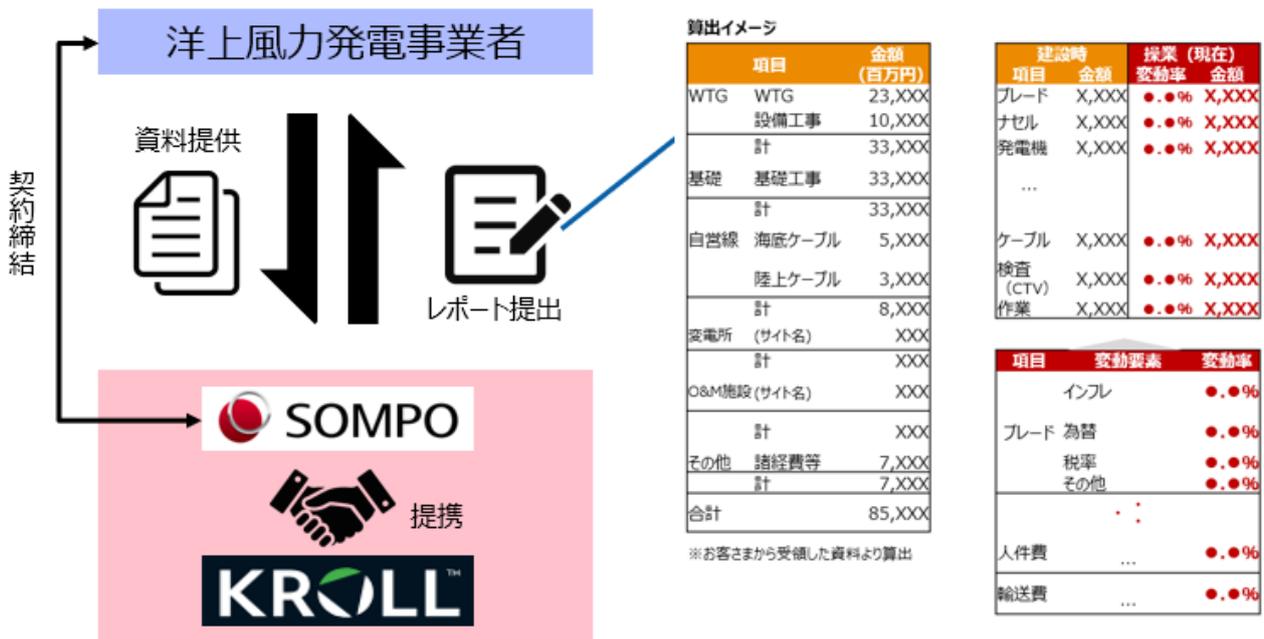
これにより、適正な保険価額、支払限度額、免責金額の設定や、操業フェーズにおける最大予想損害額の評価が可能となり、より適切な保険設計を提供します。

※KROLL は世界有数のアセットバリュエーション（資産評価）機関であり、エネルギーインフラ・発電設備・海洋構造物などの評価実績を多数有しています。

Kroll 社ホームページ <https://www.kroll.com/en>

エネルギー分野の評価サービス概要 <https://www.kroll.com/en/services/fixed-asset-advisory/fixed-asset-energy-practice>

【サービス提供】



(2) 地震リスクの定量評価サービス

SOMPOリスクは、2016年より洋上風力発電事業向けの定量リスク評価サービスを提供し、日本特有の自然災害リスクや洋上風力発電に固有の事業リスクを反映した評価手法を継続的に高度化してきました。

今回新たに、従来は評価が難しかった地震リスクについて、洋上風力発電所に特化した定量評価を可能とするモデルを開発しました。最新の地震動予測地図や東京大学と提携した産学官の研究成果を活用し、設備構成の違いを考慮した被害想定を行うことで、地震発生時に想定される損害規模を定量的に把握することが可能となりました。

本サービスにより、プロジェクトファイナンスの組成、保険の支払限度額や免責金額の最適化、再保険を活用した補償スキームの検討など、事業運営上の重要な意思決定を支援します。

3. 今後について

損保ジャパンとSOMPOリスクは、今後も洋上風力分野における高度なリスク評価および保険ソリューションの提供を通じて、洋上風力発電事業の普及と安定的な事業運営を支援します。さらに、洋上風力発電事業に限らず、「安心・安全・健康」であふれる未来へ」というSOMPOのパーパスの実現に向け、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

以上



つなぐ・つながる

すべての人のしあわせと、サステナブルな未来を。